



広報

No.289

～ 文教のまち西原 ～

にしはら

町の世帯・人口
(平成8年1月末現在)

世帯数	9,219世帯
人口	29,118人
男	14,782人
女	14,336人
1月の人口移動	
出生 33件	死亡 7件
転入 108件	転出 87件
婚姻 17件	離婚 8件

編集・発行/西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(946)9846 印刷/(協)丸正印刷



前県副知事
の

しょうひろ こ

尚 弘子さんを講師に女団協が「講演会」を開催

女団協(＝町女性団体連絡協議会、長崎ノブ子会長)主催による「講演会」が、2月16日午後、町中央公民館で開かれました。

講師の尚 弘子さん(放送大学沖縄地域学習センター長)は、「女性が豊かに生きるために」をテーマに、約1時間半にわたり講演しました。

講演の中で尚さんは、まず「女性と男性の生物的、機能的相違を理解することが大切です」と述べ、体成分やホルモン、体型、体力、動作などについての男女差を具体的に話しました。次に、斎藤一博士による一般男女両性の優位な特性を引き合いに「女性は力仕事よりも反復的に繰り返す作業に適し、また、適応性もある」と述べました。まとめとして「1. 自分自身をよく知ること、1. 自分らしさを生かした生き方をすること、1. バランス感覚を磨くこと」の3つをポイントとしてあげ、「(女性が豊かに生きるためには)内からわき出る美しさが必要で、その美しさは笑顔から生まれる」と述べました。

また、講演後には女団協理事の儀間信子さんが、平成6年9月27日から10月8日の12日間にわたり行われた、平成7年沖縄県女性海外セミナー「女性の翼」への参加研修報告を行いました。

今月の主な内容

- 第12回町生涯学習振興大会
- 町内特殊学級合同作品展
- 町史だより
- 神戸市からお礼の手紙
- お知らせでーびる

とじて保存すると便利です

平和な社会だからです

生涯学習振興大会



「現在『老人』と呼ばれている人々が戦後の復興時に頑張った人々です。お年寄りを大切に」とパネリストの与那嶺誠二さん。

「人間性豊かな文教のまちづくりをめざす西原町の生涯学習」を大会テーマに、町教育委員会(稲福恭助教育長)主催による第十二回町生涯学習振興大会が、一月二十日午後、町中央公民館で開催されました。

開催行事として、城間期一教育委員長による開会のあいさつ、稲福教育長の主催者あいさつ、社会教育優良団体・功労者表彰、平安恒政町長、富春治町議会議長、新垣盛俊中頭教育事務所所長による激励のあいさつがありました。

引き続き、石原昌家氏(沖縄国際大学文学部教授)をコーディネーターを迎え、五名のパネリストたちによる「平和な社会を築くには、どう取り組めばよいか」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

パネリストの沢岬昌一郎君(西原中二年)はジュニア・ピース・メッセンジャーとして長崎県に派遣された体験を述べ、「誰にたいしてもものが言え、いたわりあい、助け合う社会が平和な社会。構えずに『その人なりにできること』をしていくことが大切なのでは。自分にできることは、ピースメッセンジャーの体験を伝えて行くこと」と発表しました。

狭くなっています。『自分にできることは何か』をしつかり考えて行動を」とメッセンジャーを送りました。

与那嶺誠二さん(町老人クラブ連合会会長)は兵士として否応無しに戦争に駆り出され青春時代を奪われたこと、戦後引き上げた広島でみた被爆地ヒロシマの被爆のようす、やつとの思いで帰還した故郷西原が草木一本なく荒涼としていたこと、村民(当時)

が励ましあい助け合って戦後の復興に大変な努力をしてきたことなど、戦争と終戦を生きてきた者でしか語れない体験を述べ、「学べる喜びは、平和だからこそ実感できる。また、戦後の復興時に頑張った人々は、現在の『老人』と呼ばれる年代の人々です。家族のおじいさんおばさんを大切に、明るい平和な社会を築いていきましょう」と訴えました。

赤嶺秀政さん(西原東小PTA会長)は「家庭と学校を結ぶパイプ役がPTAの役割であり、子どもたちの卒業後は、自分自身のためにPTA OB・OGとして知識教養を磨こう」と述べ、「平和の貴

その後、行われた質疑応答では、会場の参加者から「西原の戦跡マップを作ってはどうか」、「戦争の風化が叫ばれている今日、参加した会場のみなさんがそれぞれのおじいちゃん、おばあちゃんに戦争



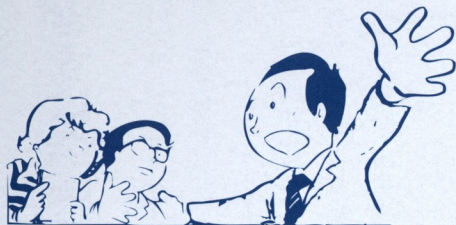
△婦人の立場から意見を述べたパネリストの城間民子さん(町婦人連合会会長)。



△「町民主体の平和活動が大事」と意見を述べるパネリストの平安恒政町長。

生涯学習できるのは

— 第12回西原町



△「平和な社会を築くにはどう取り組めばよいか」をテーマに開かれた第12回町生涯学習振興大会。



△コーディネーターの石原昌家さん
(沖縄国際大学文学部教授)。

体験を聞き取りして、各家庭の戦争体験記をまとめてほしい」など、パネリストに対する意見だけでなく、会場の参加者や町民全員に対する意見提言が相次ぎ、平和への意識の高さを感じさせる大会となりました。

また、宮城喜久子さん(ひ



「平和の貴さと生命の尊さを知り、個人個人が豊かになることが大切」と述べたパネリストの赤嶺秀政さん(西原東小学校PTA会長)。

【個人の部(五名)】▽浦添朝勝(字幸地三百十三番地の四)▽豊平信一(字小橋川二百十番地の五九)▽屋宜トヨ子(字与那城八十三番地)▽岳原豊子(字兼久二百四十一番地の三)▽兼次佐多満(字池田百七十八番地の三)▽佐久本春枝(字上原二百九十番地の二)▽重原達郎(字棚原百四十一番地)

めゆり同窓会)による「戦争体験を通して平和を考える」と題する記念講演がありました。なお、平成七年度社会教育優良団体ならびに功労者表彰受賞者は次の通り(敬称略)。

【団体の部(三団体)】▽融和会▽坂田婦人会▽坂田クラブスポーツ少年団



△ジュニア・ピース・メッセンジャーとして長崎に派遣された体験から得た意見を述べるパネリストの沢崎昌一郎君(西原中学校2年生)。

ちよつとお知らせ

小橋川公民館の
放送設備

先月号でお知らせした新築の小橋川公民館には、(財)自治総合センターによる平成七年度コミュニティ助成金二百五十万円を活用した放送機器が整備されています。これにより、難聴地域や放送の聞きとれない地域が解消され、円滑な自治会活動ができるようになります。

めざすは全国ブランド「さわふじ」

県内外に発信できる特産品

として、「琉球泡盛さわふじ」

と「古酒(くーす) ケーキさ

わふじ」が、商品化され、そ

の発表会が一月三十日午後、

西原共同福祉施設二階ホール

で行われました。

これは、昨年、設立二十周
年を迎えた町商工会(呉屋定
子会長)が、本町の銘木「サ
ワフジ(サガリバナ)」の名
を冠した町おこし事業の一環
として取り組んでいたもの。

「琉球泡盛さわふじ」は、

本町字小那覇の(資)石川酒造場
(石川信夫社長)が製造、度

数三十度、七百二十ミリリッ

トルの瓶詰で、小売価格七百

二十円、化粧箱付では八百円。

二月から本町を中心に販売さ



このたび発売された「琉球泡
盛さわふじ」と「古酒(くーす)
わふじ」。

れています。

「古酒(くーす) ケーキさ

わふじ」は、本町字幸地のオ

キコ(株)(金城正男社長)が製

造、石川酒造場の五年古酒を

使用した四百グラムのカステ

ラケーキで、千三百円。マシ

ユマロのようなしつとり感

と、防腐剤代わりに古酒を用

いているので、常温で二カ月

保存できるのも特徴。当面は

町内のイベントなどでの販

売、空港の土産物や特産物展

などでの紹介もしていく予

定。また、売上金の5%は町

人材育成会へ寄付されること

になっています。

発表会で、呉屋会長は「今

後、県産業まつり、全国村お

こし物産展などに出品の準備

を進めていきたい」とあいさ

つ、新特産品にかける意気込

みを示しました。町内の関係

者百名余が、さっそく「琉球

泡盛さわふじ」で乾杯、「古

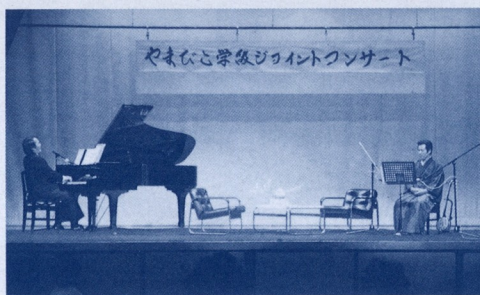
酒(くーす)さわふじ」を味わ

いながら、その誕生を祝いま

した。

商工会では今後、ポスター
やチラシを制作し、機会ある
ごとに新特産品のPRに努め
ていきます。

町婦人学級「やまびこ学級」が修了



△「やまびこ学級」の開級式の前には、洋楽と沖
縄民謡のジョイント・コンサートも開かれました。

特産品「さわふじ」につい

てのお問い合わせは

町商工会

☎九四五―六一三六まで。

と税、環境問題などさまざま
な分野で学習を重ねました。

最終回となる開級式の前に

は、知花賢招さん(バリトン

声楽家)と仲宗根盛次さん

(民謡研究所代表)によるジ

ョイントコンサートが開か

れ、二人が奏でる洋楽と沖縄

民謡に会場みんなが参加し

て歌うなど楽しいひとときを

過ごしました。

開級式では、学級生に修了

証が授与されました。

町内在住の婦人を対象に、
昨年十一月から今年の一月ま
で七回にわたって開催された
「やまびこ学級」の開級式が、
一月三十一日午後、町中央公
民館で行われました。

町教育委員会(稲福恭助教

育長)主催による「やまびこ

学級」には、百十四人の生徒

が参加、これまで福祉活動、

ボランティア活動、特別養護

老人ホームでの体験学習、エ

レガントに装う実技、くらし



△司会者たちとのやりとりでも会場をわかせ
たシルバーカラオケ大会。

14名のシルバーが
自慢のノドを競う

町社会福祉協議会(宮平吉太
郎会長)主催による第三回シル
バーカラオケ大会が、一月十七
日午後、町社会福祉センターで
行われました。

これは、歌うことを通して心
身共にリフレッシュを図ろうと
開かれたもので、町内各行政区
や「池田苑」、「守礼の里」から
六十歳以上のノド自慢十四名が
参加しました。

今回は、司会に笑楽過激団の
いずみ&やよい、審査委員にゲ
ストとして歌手の沖ひろみさ
ん、前回最優秀歌唱賞を受賞し
た新垣良子さんを迎え、より充
実した大会となりました。

入賞者には、町社会福祉協議
会やJAサンライズなどから賞
状やトロフィーのほか、ペアで
往復航空券やホテル宿泊券、サ
ウナ券など豪華賞品が贈られま
した。

太鼓などを持って応援する
人々も多数駆けつけ、出場者を
問わず声援を送っていました。

なお、各受賞者は次の通り、
(敬称略)。

▽最優秀歌唱賞・我謝豊子(兼
久)▽優秀歌唱賞・玉城守市

(坂田ハイツ)▽歌唱賞・呉屋

初子(与那城)▽特別賞・伊波

善英(棚原)、我謝光子(池田
苑)



△お年寄りや心身障害者、知的障害者たちが一緒に
なってコンサートを盛りあげた。

これは、県内の各施設を回り、歌や踊りによるリハビリ、生きがいづくりに取り組んでいる「ウェルカム！幸楽会」

“音楽は心がふれあうキーワード”

—「町づくりふれあい交歓コンサート」—

障害児者やお年よりと音楽を通して交流しようと「町づくりふれあい交歓コンサート」が、二月十日午後、町民体育館で開かれ、町内外の心身障害者施設や老人ホームなど十二団体からボランティアを含む二百人以上が参加しました。

「音楽療法士・高良幸人主宰」が主催したもので、参加者が同じ場所と同じ目線で音楽を通してふれあいをというねらいから、会場には舞台を設けず、参加者が向かいあう形でのコンサートとなりました。

コンサートは、大正琴（琴伝流大正琴研究会）で幕を開け、高良さんの指揮に合わせ、全員が発声練習した後、沖縄民謡、唱歌、歌謡曲などを合唱。引き続き各老人ホームや障害者施設、障害者グループの楽器演奏がありました。会場には、お年寄りや障害

児（者）たちの介助や、音楽ボランティアとして楽器演奏を行う、十代から二十代前半の若者の姿も目立ち、若者のボランティアに対する関心の高さも感じられました。

参加したお年寄りや障害児（者）たちも手に持ったタンバリンやカスタネットなどの楽器でリズムを取ったり、手拍子をしたりと、上機嫌。全員参加のレクレーションになると、カチャーシーも飛び出すなど、当日はこの冬一番の寒さにも関わらず、会場は参加者の元気な歌声と歓声で熱気に包まれていました。

初めての合同作品展を開催

西原特殊教育研究会（会長・上里善孝西原小学校校長）主催による「町内特殊学級合同作品展」が、二月十三日から二月十六日までの四日間、町中央公民館で開かれました。

同展は、特殊教育の充実を目的とする特殊学級合同学習の一環として日ごろの学習成果を広く町民に披露し、特殊教育に対する理解とそのような子どもたちの可能性を知ってもらおうと行われたもの。町内小・中学校の特殊学級による合同作品展は初めて。図画や工作、手芸、習字、版画、作文など、さまざまな作品が作者の制作上の感想も添えて

展示されました。

同展の開催中は、授業時間を利用して参観する学校もありました。参観した子どもたちや引率の先生たちは、知的障害を持つ子どもたちの素晴らしい作品に触れ、「自分も



△町内小・中学校の特殊学級児童生徒の作品に見入る子どもたち。

“剣道、なぎなたで心と体の鍛錬”



町体育協会（野島英秀会長）主催による平成七年度町少年剣道なぎなた大会が、二月十一日、町民体育館で開かれ、子ども



もたち六十八名が参加して日ごろの練習の成果を競いつつ、お互いの交流と親睦を深めました。

作ってみたい」「豊かな発想の作品が多い」「色の使い方が鮮やかで斬新」などの感想を寄せ、ふだん鑑賞する機会の少ない児童生徒にとって大きな刺激になったようです。

主催の上里会長は、「もっと特殊教育に対する正しい認識が広まるよう、このような機会を多く持てれば、と思います」と述べていました。



△町教育長賞を受賞した中村芳乃(豊見城南高校2年生)さん。

県内高等学校 生徒の力作が集う

第7回沖縄県高等学校書道展(主催:県高等学校文化連盟(高文連)、県高等学校書道教育研究会(高書研))が2月17日から2月18日の2日間、町中央公民館で開かれました。

同書道展は高校1、2年生を対象とし、県内全域から22校163名が参加しました。

伸びやかな筆使い、余白を生かした構成、力強い字体といった高校生らしい爽やかな作品が多く出品されていました。

なお、特別賞受賞者は次の通り(敬称略)。

【高文連会長賞】兼城真理子(本部高校2年)【高書研会長賞】斎藤夢津美(普天間高校2年)【高書研顧問賞】栄盛なつき(糸満高校2年)【西原町教育長賞】中村芳乃(豊見城南高校2年)



△みんなで、もちつき。できあがりを楽しみ。

愛のふれあい、ペッタンコ!

—第1回新春ふれあい 愛のもちつき会—

町赤十字奉仕団(儀間信子委員長)主催によるもちつき会が、1月21日午前、町中央公民館前広場で行われました。

「第1回新春ふれあい愛のもちつき会」は、心身にハンディを持った人と一般町民との交流をもちつきを通して図ろうと今回初めて催され、町赤十字奉仕団や町社会福祉協議会、はばたき作業所、町心身障害児(者)を育てる会、一般町民らが参加しました。

ヒヤミカチ太鼓(与那原町と西原町の心身にハンディをもつ人々で構成)も応援に駆けつけ、勇壮な演奏でもちつきを盛り上げました。心身にハンディを持つ子も持たない子も一緒になって、代わる代わる杵をつきました。

できあがった温かい餅は、その場できな粉をつけたり、ぜんざいにして、みんなでおいしくいただきました。

ま
ち
の
話
題



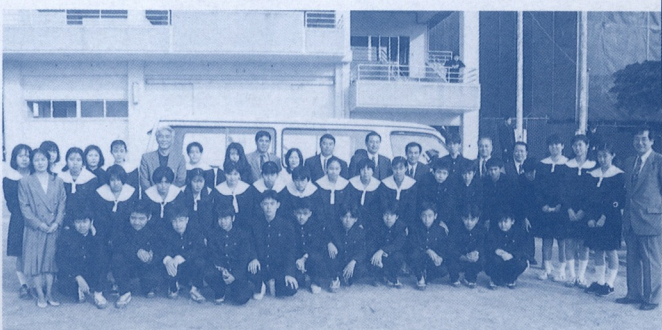
△西原東中で行われた琉球舞踊鑑賞会。

西原東中で琉舞鑑賞会

町文化協会(屋良朝光会長)では、児童生徒に豊かな情操の涵養を図ってもらおうと、2月8日午後、西原東中学校(松川邦雄校長)体育館で、坂田小学校、西原小学校に引き続いて3回目の琉球舞踊鑑賞会を開催しました。

屋良会長は、上演された8演目を通して、老人踊り、若衆踊り、女踊り、二才踊りなどの「古典舞踊」、明治以後に庶民の生活を主題にした「雑踊り」など沖縄の芸能について解説しました。

実際に琉球舞踊を見るのは初めてという生徒も、目の前で繰り広げられる琉球舞踊の優美さと力強さ、それを支える唄、三線、琴、太鼓、胡弓、笛といった地謡の確かな力量、それらが見事に調和した“美”の世界に知らず知らず引き込まれているようでした。



△PTAから贈られたマイクロバスを前にPTA役員や生徒・先生たちで記念撮影。

西原中PTAがマイクロバスを贈呈

西原中学校PTA(宮里正春会長)は、2月16日、西原中学校(小成善徳校長)に、学校車としてマイクロバス1台(10人乗り、300万円相当)を贈りました。贈呈式では、同日の午前、全校朝会を利用して運動場で行われ、宮里会長から小成校長へマイクロバスの鍵が手渡されました。

同PTAでは、西原まつりに参加してバザーや苗木・植木販売をしたり、ガレージセールを開いたり、ゴルフコンペの開催、テレホンカードの製作・販売、寄付金を募ったりなどして、学校車の購入資金を調達しました。

生徒会長の与那嶺愛子さんが「これまで学校車がないため、父母の車やタクシーを利用するなど経済的、時間的に父母に負担をかけていました。今後は、部活動や校外学習などに活用していきたいと思います。PTAのみなさん、ありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。

町史だより
—No.11—

町内井戸めぐり④

井戸の建造年代について

これまでみてきた町内の井戸は、いったいいつ頃に造られたのか御存じでしょうか。

残念ながらいまのところ詳細な史料がなく、よくわかっていません。

史料『琉球国由来記(一七一三年)』には、棚原・シラ河ノ巫川(神ガー)、翁長・テラノコシノロ川、呉屋根川、小橋川根川、我謝・エボシガワノ嶽(エボシガー)の五井泉の記載がみられます。また『球陽(一七四三年〜一七四五年)』外巻「遺老説伝」には小波津・ティラサガーについての記載があります。これらの井戸はその当時から存在していたことになるといえます。

では、そのほかの各集落の井戸はいつ造られたのか？



津花波古島遺跡近くにある名称不明のカー位置図

津花波には、名前のわからない井戸があります。話をきくと、その家の祖先が、津花波に移り住んできたときに、家の柱を建てる穴をほつていたらなにやら井戸の跡らしきものがでてきたので、掘りかえして新しい井戸をウミイシで造りなおしたとのこと。それで井戸の名前がないというのです。つまり、ずっと以前からあった井戸なので、なんという名称で呼ばれていたか誰も知らないというわけなのです。いったいいつの時代の誰が造った井戸で、なんという名称で呼ばれていたのでしょうか。

そう考えると今ある井戸の名前や建造方法もいろいろな変遷をたどってきたいるのでしょうね。ですから私たちは井戸の姿をきちんと記録(井戸の形や石の積み方から年代を考える、造った人や年代について聞き取りを行うなど)しておこうと思っています。だってこれからまた姿かたちを変えてしまうかもしれないものね。

平成 8 年度第 1 回保留地処分の公開抽選について

保留地処分(土地売却)のお知らせ！

那覇広域都市計画事業上原棚原土地区画整理事業の平成 8 年度第 1 回保留地処分の公開抽選を平成 8 年 4 月 6 日(土)、午後 6 時から西原町社会福祉センター(大広間)で行います。抽選参加申込受付期間は、平成 8 年 3 月 25 日(月)から平成 8 年 4 月 4 日(木)迄です。(詳細は別途配布のチラシをご覧ください。)

※お問い合わせ先 区画整理課 (☎945-4415)

西原町(平安恒政町長)で

は、生活污水等による河川の汚染など環境問題が大きな課題となっている今日、生活環境の整備を図ろうと下水道事業を推進しています。

事業の手法として、汚水を流域下水道につないで処理する流域関連公共下水道と、それで対処した場合に地理的・

コスト的負担がかかるときは合併処理槽というように、二つの手法の併用を検討しています。

また、平成七年十二月十八日午後七時には、町中央公民館で中城湾南部流域下水道事業の住民説明会がありました。

神戸市からお礼の手紙

前略 昨年の大震災以来、皆様から多方面にわたり多大なご支援を頂戴してまいりました。

震災一年を迎え、改めて厚くお礼を申し上げます。

お蔭様で、公共交通機関などはほぼ復旧し、倒壊家屋の撤去も年度内には終了する予定で、徐々に復興に向けての動きが出てきております。

一方では、恒久住宅の建設をはじめとする市民生活の安定や、産業の建て直しなど解決すべき問題が山積しておりますが、神戸を今まで以上に魅力あるまちとして再建するよう、市民とともに邁進してまいる所存です。

皆様方には今後とも変わりますせずご支援を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら書中をもちまして、この一年のご厚情に対する重ねてのお礼とさせていただきます。

平成八年一月

草々

神戸市長 笹山 幸俊

平成 8 年度 国民健康保険者証の切替えについて

お知らせ
でーびる

あなたが、現在お持ちになっている国民健康保険者証は、3月31日までしか使用できません。4月からは、新しい保険者証でないと受診できませんので、以下の通り新しい保険者証に切替えて下さい。

☆場 所：西原町役場 国民健康保険課窓口
☆時 間：午前 9 時～午後 4 時
☆持参するもの

- ①現在使っている国民健康保険者証
- ②印鑑（認め印可）
- ③在学（在園）証明書
（学④の保険者証を持っている世帯）

★注意事項

- ①平成 8 年度の所得申告をしていない方は、税務課で申告をしてから保険者証の切替えをして下さい。収入のなかった方についても申告が必要です。
- ②国民健康保険と職場の健康保険の両方に加入をしている方がおられましたら、職場の健康保険者証も持参して下さい。
- ③国民健康保険に加入している世帯で、既に転出や転居（住所変更）している方がおられる場合には、国民健康保険課の窓口で届出をして下さい。

指定切替日	行 政 区
3月11日 (月)	幸地・幸地ハイツ・幸地高層住宅・棚原
3月12日 (火)	徳佐田・森川・千原・上原・坂田
3月13日 (水)	翁長・呉屋・津花波・西原団地・小橋川・内間
3月14日 (木)	内間団地・掛保久・嘉手苺・小那覇
3月15日 (金)	平園・兼久・与那城
3月18日 (月)	美咲・我謝
3月19日 (火)	西原ハイツ・安室・桃原・池田
3月21日 (木)	小波津・小波津団地・西原団地



案内・募集
3月

保険税の納め忘れはありませんか？
給付は権利 納付は義務

●保険税を未納の方は、切替手続きと同時に納めて下さい（平成 7 年度分まで）。

『さわふじプラン地域推進委員会』（仮称）
委員を募集します

- 1、目 的
真の男女平等社会の実現をめざして策定された西原町女性行動計画（さわふじプラン）を推進していくためには、町民の理解と協力が最も重要です。さわふじプランの実施にあたり、女性行政に関する施策を地域、家庭、職場で具体的に推進していくため「さわふじプラン地域推進委員会」（仮称）を設置します。そこで、その施策推進の原動力となる委員の一部について、幅広い人材の登用を図るため、今回第 2 期の公募委員を募集します。
- 2、募集要項
(1) 募集人員………若干名
(2) 資 格
◇女性行政施策について意欲または関心のある者
◇男女を問わず昭和53年 4 月 1 日以前に生まれた者
◇西原町民、又は職場や活動拠点を町内に有する者
(3) 応募方法
履歴書一通（写真一葉添付）を郵送、または直接西原町役場・文化広報課へ提出する。
(4) 応募締切
平成 8 年 3 月 29 日（金）午後 5 時まで
(5) 任 期……… 3 年（平成 8 年度～平成 10 年度）
(6) 選考方法
書類選考を基本とし、必要場合は面接選考により選考委員会が決定する。
- お問い合わせ先：西原町役場 文化広報課 女性行政振興係
（西原町字嘉手苺112番地 TEL946—9846）

—平成 7 年度— 青 年 学 級

趣 旨：21世紀の時代を担う青年が一堂に会し、学習をとおして相互に協力し連帯を深め、今後の青年活動について話し合う場をつくり共に学ぶことを目的とする。

主 催：西原町教育委員会
期 間：平成 8 年 3 月 6 日（水）～3月25日（日）
場 所：西原町中央公民館 その他
対 象：西原町内一般青年男女
人 員：30人
受講料：無料、ただし材料費、研修費等は自己負担
受 付：平成 8 年 2 月 2 6 日（月）～3月6日（火）
問合先：西原町教育委員会
生涯学習課 TEL945—3655
担当：与那嶺 剛・与那嶺 仁

＜学習プログラム＞

	日 時	学習課題	学習内容	方法	講 師
1	3/6 (水) 19:00～21:00	(開 級 式) スポーツ親睦	スポーツで親睦を バウンドテニス	実技	西原町教育委員会 与那嶺 剛
2	3/13 (水) 20:00～22:00 (西原町中央公民館)	沖 縄 の 風 習	トートーメーに関わる 男と女のちがひ	講話	家族療法研究所 又 古 正 治
3	3/21 (木) 19:00～21:00 (西原町中央公民館)	陶 芸	自分の手で最高の作 品が生まれる？	実習	陶 芸 家 大 滝 康 弘
4	3/23(土)・3/24(日) (北 部)	自然散策宿泊研修 (開 級 式)	◎自然にふれて穴場さがし ◎青年サミット (西原町と青年活動)	研修	西原町教育委員会 生涯学習課

注：講師等の都合により、プログラムを変更する場合があります。

3月21日(木) 町立小学校卒業式（西原小、坂田小、西原東小、西原南小）

保育所(園) 入所受付について

西原町役場福祉課では、保育所(園)入所の児童の受付を随時行っています。保育所入所(園)を希望される保護者は福祉課で申請して下さい。

保育所(園)は、その児童の保護者が、就労、出産、疾病及び病人の看護等の為保育ができない場合に保護者に代わって、お子さんを預かり保育することを目的とする児童福祉施設です。したがってどの家庭の子供も無条件に入所できるものではありません。随時受付分については現に入所している児童が退所した場合に、入所基準に該当するものの中から入所できるよう待機児童とします。

★詳しくは、町役場福祉課保育所係へお問い合わせ下さい。

☎ 945-5311 (内線123)

坂田小学校創立五十周年記念事業への協力を

坂田小学校は、本年四月に創立五十周年を迎えます。同校では、PTA、同窓生、町内有志で創立五十周年記念事業期成会を結成し、事業の推進を図っています。

同期成会では、同窓生、PTA、町内有志、町内企業の皆様に募金活動を展開して事業費を捻出し、諸事業を行い教育環境の整備を図ります。

町民の皆様には、出費多端な折とは存じますが同期成会の趣旨を御理解賜り、募金への御協力をお願いいたします。
なお、募金推進にあたっては、「募金推進員」の身分証明書を携えてお伺い致します。

坂田小学校創立五十周年記念事業期成会

会長 平安 恒政

※募金へのお問い合わせは

期成会事務局(坂田小学校内) 九四五―五三二二

平成8年度

案内・募集

― 西原町心身障害児通園事業「あゆみ」 ―



心身に障害を持っている未就学のこども達とお母さんが楽しく過ごせる遊びや生活経験を通して、こども達を正しく理解し、社会の一員として育てていくために、その学習の場として「西原町心身障害児通園事業」を行っています。

平成8年度の園児を募集します。

対象児童

- ①西原町民であること
- ②心身に障害がある児童
- ③小学校就学前の児童
- ④通園による指導になじむ児童
- ⑤伝染性疾病を有しない児童

保育時間

毎週火、木曜日の9:30～12:00

保育場所

西原東児童館

申請期間

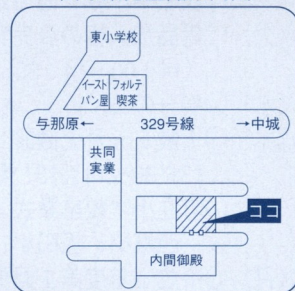
平成8年3月11日～19日

申請場所

役場福祉課

※詳しくは西原町役場福祉課まで ☎ 945-5311 (内線123)

西原東児童館案内図



おやこでたのしく

―すくすく育て「あゆみ」のこどもたち―



西原町心身障害児通園事業「あゆみ」が開園してもうすぐ1年になります。開園当初は3名でのスタートでしたが、現在は8名のこども達がお母さんと一緒にいろいろな遊びを楽しんでいます。豆や紙など身近にあるものを利用して感覚遊びを多く取り入れ親子でダイナミックに遊んでいます。

みんなと一緒に遊べるだろうか、と不安な思いで通い始めたお母さん方でしたが「他のお母さんの話を聞くだけで励みになります。」「家ではできないことやさせてあげられないことを体験させることができました。」「こどもの新しい発見や可能性を見つける楽しみが増えてきました。」との声が聞かれるようになりました。

毎月、プールあそびや園外保育もありみんな楽しみにしています。いろいろな遊びを通して、たくさんの刺激を受けて元気いっぱい遊んでいるこどもたちがいます。あなたもちょっと、のぞいてみませんか？

『毎週火曜日と木曜日の9:30～12:00 西原東児童館』で保育をしています。

3月(Mar.) 行事・祭事予定

- 3日(日) ○乳児一般健診(H7.9.17~H7.12.3、H7.3.17~H7.6.3生まれ、9:00~10:00、13:00~14:00、町社会福祉センター)
○第8回海邦国体記念バスケットボール大会(9:00、町民体育館、西原高等学校体育館、西原東中学校、西原中学校体育館、10日、17日)
- 5日(火) ○一般健康相談(毎週火曜日、13:30~16:00、町役場保健衛生課相談室)
- 6日(水) ○離乳食実習(乳児、13:00、町中央公民館)
○心配ごと相談所(毎週水曜日、14:00~17:00、町社会福祉センター内心心配ごと相談室、13日、21日、27日)
○平成7年度青年学級開級(バウンドテニス、19:00~、13日、21日、23日~24日)
- 7日(木) ○DPT(12ヵ月~90ヵ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 9日(土) ○西原高等学校マーチングバンドローズパレード出場協力御礼公演(14:00~16:00、町民体育館)
- 11日(月) ○定例議会開催(~29日)
○3歳児健診(H4.11.4~H4.12.8生まれ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
○町心身障害児通園事業「あゆみ」平成8年度募集受付(~19日、町役場福祉課)
○平成8年度国民健康保険者証の切り替え(~15日、18日、19日、21日、各行政区で指定日は異なります。)
- 12日(火) ○リハビリ教室(毎月第2、3、4火曜日、町社会福祉センター)
- 17日(日) ○子ども三線・子ども琉舞発表会(町中央公民館)
○西原中学校、西原東中学校卒業式
- 19日(火) ○電話加入権の公売実施(14:00~14:30、町役場2階大会議室、印鑑持参)
- 20日(水) ○春分の日
- 21日(木) ○1歳6ヵ月児健診(H6.8.10~H6.9.12生まれ、13:30~14:15、町中央公民館)
○町立小学校卒業式(西原小、坂田小、西原東小、西原南小)
- 25日(月) ○平成8年度第1回保留地処分の公開抽選参加申込受付(~H8.4.4)

(※都合により日程変更もあります。お出掛け前にご確認を)

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は、3月11日からの予定です。

○あなたもぜひ……

町議会は誰でも傍聴することができます。

○お願い

傍聴席には限りがありますので、団体等で傍聴される場合には前もってご連絡下さい。また、傍聴に関する規則を守って傍聴されるようお願い致します。

お問い合わせ先 西原町議会事務局 ☎945-5005

魅力いっぱいの農業者年金 早く加入すると、それだけ有利です。

西原町内にお住まいの農業経営主で、

- ① 国民年金の加入者(第1号被保険者)
 - ② 60歳までの被保険者期間が20年以上になる方
 - ③ 特例・高齢任意加入被保険者(65歳までに被保険者期間が20年以上になる方)
- ①、②、③から①と②又は①と③に該当し、さらに、
ア 自分名義の農地が50アール以上ある方
イ 自分名義の農地が20アール以上50アール未満で、年間農業労働時間が700時間以上ある方
ウ アまたはイの後継者(直系卑属：子や孫で農業従事期間が通算3年以上)

ア、イ、ウのいずれかに該当する方は、農業者年金の加入対象者です。詳しいことは農業委員会までご連絡ください。

電話945-4540(内線:406)

お知らせでーびる

電話加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

公売実施日

平成8年3月19日(火)※受付14:00~14:30

西原町役場2階大会議室

※印鑑(認印)を持参して下さい。

詳しいことは、西原町役場税務課へ

☎945-4729(内線143)

広報係から

—土曜の朝は
青空市で買い物を—

ある土曜日の朝、取材を終えて役場に戻っていると、お隣のJAサンライズ西原支店駐車場に、何やら人だかりができています。何だろうとのぞいてみると、青空市を開いている。野菜や花、農産加工品、リサイクル品など、いろいろ売っていて、値段も安い。出品している人に聞いてみると「だいたい決まった人が買いにくるね。もつと出品する人が増えて品数を増せば、買いにくる人たちも増えるはずよ」と話していた。

かつては月一回第二土曜日に開いていたそうだが、開催日が覚えづらい、少ないと不評だったので定期的に開こうと、今では毎週土曜日の午前九時に開いているという。午前九時頃から始まり、品物がなくなり次第閉じるとのこと。皆さん、農協に園芸用品などを買いにきたついでに、のぞいてみてはどうでしょう。案外掘り出し物がみつかるかも。

なお、出品希望の方も大歓迎です。青空市について知りたい方は、主催の西原町普及事業連絡協議会・長嶺まで(☎946-4653)お問い合わせを。

わたしたちは、スポーツに親しみ、健康の増進につとめましょう。(町民憲章)